
ごらんごらん

上村忍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いっらんいっらん

【コード】

N56120

【作者名】

上村忍

【あらすじ】

いっらんいっらんいっらんいっらん

(前書き)

しんぶんしんぶん

ごらん、ごらん、ごらん。

想像してごらん。

君は今、髪を洗っているんだ。独りバスルームに入り、下を向いて頭をこすっている。

もちろん、目は閉じているよね。

そつした時に、ふと背中の部分に冷たい風を感じるんだ。

「変だな？」と想っていたら、冷たいしわだらけの手が、背中を掴む。

爪が伸びているようだ。肌に食い込んで、痛い。かさかさの手だ。

おどろいて、君は振り向く。

そこには、何もいないんだ。

でも、君は、泡だらけの頭のまま、また背後に気配を感じるんだ。

想像してごらん。

大急ぎで頭を洗い、君はバスルームから飛び出る。

そうだよね、いやだもんね。さっきのはなかったことにしたいよね。

片っ端から電気をつけて回り、テレビもラジカセも大音量。

一安心だね。もう、そこに闇はない。

君は髪を乾かそうと想う。鏡に向かう。

鏡に向かっているとき、君はどこを見る？

顔かな？それとも頭？

その視線のはじめに何かが見える。

何かが、

「シュッ」

と、横切った。

後ろを振り向く？向かない？

気になるよね、何かがいるんだ。

君は自分の頭よりも、鏡越しに後ろを見ることになる。

気になりながら、髪を乾かす。

ドライヤーを入れた瞬間、

「バツン」

と辺りは暗くなる。

君は恐ろしくなる。

「大丈夫、ブレーカーが落ちただけ」
と思いこむ。

目が慣れないウチに君はブレーカーに向かう。

濡れたままの髪に何かが触れる。

布？いや、かけてあったコートだ。

目が慣れてくる。

ぼんやりとコートが見える。

コートを手で払う。肉に触る。

コートを誰かが着ている。

かかっているコートを誰かが着ている。

コートを着た状態で誰かがかかっている。

想像してごらん。

この後、君はどうなるだろう？

ごらん、ごらん、ごらん。

君は、想像する。

君は、パソコンを消す。

君は、風呂に入る。

ごらん、ごらん、ごらん。

（後書き）

「想像してごらん？」って言うお笑い芸人いましたっけ？いませんでしたっけ？どちらにしても、かなり昔に書いたもので、その人のネタは知らなかったのでパクリではないです。

うーん、言い訳ください。そのお笑い芸人の名前って、なんていうんだろう？

ま、いいや。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5612o/>

ごらんごらん

2010年10月29日00時25分発行